



デンタル ニュース



7月になりました。日本の夏の納涼といえば、怖い話や怪談話！皆さんはお好きですか？今回は、歯に関する怖～いお化けをご紹介します。

その名は「歯痛殿下（はいたでんか）」。静まりかえった真夜中、寝ている人間に忍び寄り、電気が通っている指先で、寝ている人の歯を触ってきます。すると寝ている人は、歯の痛さに驚いて飛び起きる！けれど歯痛殿下の姿はどこを探しても見えない…そうです…。うう～怖い！もともとはベルギーの妖怪で、体は神経のみでできているそうです。なんとも不気味ですね。

歯の痛みの原因が分からなかった昔は、虫歯を治療する術が無かったため、壮絶な痛みを我慢するしかありませんでした。虫歯の原因も分からなかったので、歯の痛みは悪魔や妖怪の仕業と考えられていたそうです。

現在では虫歯の原因は、虫歯菌がお口の糖分を餌に酸を作り出し、歯を溶かすことでできると分かっています。おいしいアイスやかき氷を食べたまま歯を磨かないでいると、皆さんの所にも歯痛殿下が来てしまうかもしれません。当院ではできるだけ痛くしない治療を心がけています。心当たりのある方は早めに治療にお越しくださいね。

たんぽぽ歯科からお知らせ



歯科検診を受けましょう！



[http:// www.tanpopo - dc.com/](http://www.tanpopo-dc.com/)

たんぽぽ歯科

住所 海老名市河原口3-20-12 西山ビル

電話 046-235-2233

診療科目 一般歯科、小児歯科、
歯列矯正、審美歯科、
インプラント、予防検診、
3Mix 法、フッ素塗布

モバイルサイト



携帯サイトは
こちらから



ズキンッ！その歯、虫歯かも！

★どうして虫歯ができるの？



虫歯の原因は、ミュータンス菌をはじめとする細菌ですので、他の歯に感染します。食べ物の残りかすが歯の表面につき、そこに細菌が繁殖するとプラーク（歯垢）ができます。プラークのなかのミュータンス菌が食べ物に含まれる糖分を酸に変え、その酸のなかでラクトパチラス菌が歯を溶かして穴を作っていく、虫歯ができてしまうのです。

★虫歯の進行の度合い

学校や職場の歯科検診で、「C1」や「C0」などという言葉聞いたことはありませんか？虫歯には進行の度合いによってC0～C4に分けられます。「C」とは、英語での虫歯「カリエス」の頭文字を指します。

■C0・・・虫歯になりかけの状態 歯の表面が白く濁った状態です。

■C1・・・歯の表面に小さく穴が空いてしまった状態

穴が空いたのは表面のエナメル質だけなので痛みはありません。早期発見したら、プラスチックで治療するか、フッ素を塗布してブラッシングを丁寧に行い、経過観察することができる状態です。冷たいものがしみる可能性があります。

■C2・・・虫歯が象牙質にまで進行した状態

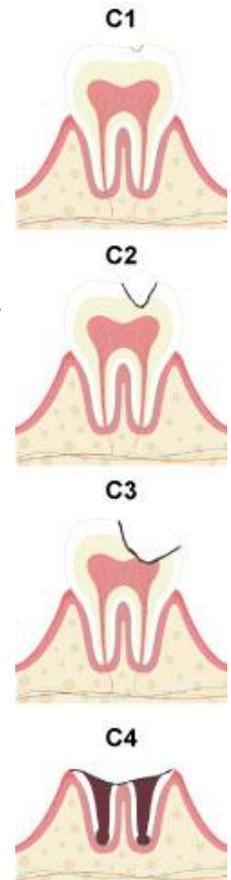
食事の時、冷たい物や温かいものでしんだり、噛んだときに痛む状態です。象牙質管が感染しており、短期間で歯髄に達しますので、早めの処置が必要です。

■C3・・・虫歯が歯髄にまで進行した状態

虫歯が歯髄（歯の神経）にまで達し、激痛を伴う状態です。自然とズキンズキンと痛むこともあります。抜髄（神経をとる治療）などの処置が必要です。

■C4・・・歯の根っただけが残った状態

ここまで虫歯が進行してしまうと、歯髄も死んだ状態になり、痛みも感じません。末期の状態です。やがて歯の根まで虫歯が進行し、歯根膜の化膿で膿が出るようになります。こうなると抜くしかありません。



★要注意！こんな症状があったら虫歯かも！？

- ・歯がズキズキと痛む。
- ・冷たい物や温かい物で歯がしみる。
- ・歯が黒くなっている部分がある。
- ・歯が浮いたような感じがする。
- ・歯の被せ物や詰め物が取れた。
- ・膿が出ている。

★大切なのは虫歯にならないように予防すること

一度虫歯になってしまった歯は元には戻りません。基本的には、悪くなった部分を取り除き、人工物で補う治療になります。一度削ってしまった歯は、被せ物や詰め物をして時間とともに悪くなります。最も大切なのは虫歯にならないための予防です。日々の歯磨きと定期検診がとても大切なのです。そして、虫歯になったら、セラミックなどのよい材料で、できるだけ歯を長持ちさせ、自分の歯で暮らせる期間を最大化することが大切です。まだ痛くないからと放置せず、気になったらすぐにご来院ください。

